

## オープニング リマークス

14:30-14:35 株式会社 博報堂 マーケティングスクール

## ゲスト講演 『ななつ星in九州』を成功に導いたカリスマ経営者が語る、リーダーの心得

14:35-15:35 夢みる力が「気」をつくる

- 「気」を満ち溢れさせる経営とは
- 夢を描き展望を示す ～新たな事業の創造からプロジェクト完遂までのエピソード
- 「伝えること」がトップの仕事

九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長 唐池 恒二 氏

**プロフィール** 1953年4月2日大阪府生まれ。1977年京都大学法学部を卒業後、日本国有鉄道に入社。1987年国鉄分割民営化に伴い、九州旅客鉄道(JR九州)に入社。「ゆふいんの森」や「あそBOY」等のD&S(デザイン&ストーリー)列車の運行をはじめ、博多～韓国・釜山間の高速船「ビートル」の就航に尽力。その後、毎年大幅な赤字を計上していた外食事業を黒字化し、子会社化したJR九州フードサービスの社長に就任。2002年には、炭焼創業(そうさい)料理店、「赤坂うまや」の東京進出を果たす。2009年6月JR九州の社長に就任後、2011年に九州新幹線全線開業、国内最大級の商業駅ビル「JR博多シティ」開業と、2大プロジェクトも成し遂げた。九州を基盤に魅力あるまちづくりを目指す中で、外食事業の海外進出や農業などの新たな事業分野へも果敢に挑んできた。2013年10月に運行を開始したクルーズトレイン「ななつ星in九州」は、その企画から運行まで自ら陣頭指揮を執った。2014年6月、JR九州会長に就任。



## セッション 1 (講演)

15:35-16:05 Where the idea comes from?

イノベーションというテーマは「破壊的」「突飛な」「非連続的」といったキーワードで説明をされることが大半ですが、実際にイノベーションを生み出した人、イノベーションが生まれた仕事の話や、そういった言葉とは随分違った印象を受けます。1人、あるいはチームから生み出された、ある想い・アイデア・コンセプトが起点となり、新しい秩序が生まれ、その秩序に人々が惹きつけられ、そこに生態系が生まれていく。メソッドや法則とは言えないかもしれませんが、そういった傾向があるように思えます。そんな体系化されづらい、次の時代に必要なイノベーションを生むための、いわば「思考のジャーニー」についてお話ししたいと思います。

株式会社HAKUHODO THE DAY Executive Creative Director / CEO 佐藤 夏生

**プロフィール** 1996年博報堂入社、クリエイティブディレクターを経て、2013年ブランディングスタジオHAKUHODO THE DAYを立ち上げた。メルセデスベンツ、プリヂストン、アディダス、ナイキ等のグローバルブランドから、カゴメ、ZOZOTOWN等の国内ブランドの実績多数。CIからプロダクト、店舗、空間、広告キャンペーンまで、幅広いソリューションを生み出し続ける。国内外で数々の賞を受賞。2015年から渋谷区のクリエイティブアドバイザーも務める。



16:05-16:15 Break

## セッション 2 (対談)

16:15-17:00 「動かす言葉」～「言葉」で価値を共有する。言葉で「市場」を作り出す。～

- セッションを通じた気づきの共有
- 課題解決へ向けた質疑応答
- 課題解決へのヒント共有

九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長 唐池 恒二 氏

株式会社HAKUHODO THE DAY Executive Creative Director / CEO 佐藤 夏生

**ファシリテーター** 株式会社 博報堂 ブランド・イノベーションデザイン局 イノベーションデザイン部 部長 岩崎 博論

**プロフィール** 博報堂において国内外のマーケティング戦略立案やブランドプロジェクトに携わった後、近年は生活者起点のイノベーションプロジェクトをリードしている。専門は、新製品・サービス開発、新規事業開発、UX戦略、ブランド戦略、マーケティング戦略、エスノグラフィ調査、プロセスファシリテーション。著書に『機会発見—生活者起点で市場をつくる』など。

